

第6学年 外国語活動学習指導案

い組 男子 18名 女子 18名 計 36名
指導者 J T E 園 田 愛 美
A L T Christopher Sneller

1 単元 鹿児島のお土産をしょうかいしよう

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、これまでに「買い物ゲーム」や「ハローワールド」の活動を通して、自分の生活に身近な場面で思いを表現し、伝え合う楽しさやよさを味わい、積極的にコミュニケーションを図るようになってきている。また、日本と外国には挨拶やお金、食べ物等異なる文化があることに気付き、色々な国の文化に興味をもつようになってきている。

そこで、本単元では、より児童の生活に身近な地域の場面で、外国や日本の言語や文化について理解を深める活動として、お土産を題材とした買い物ゲームを行いたい。そして、**外国の特徴のあるお土産と、自分たちの郷土鹿児島のお土産とを比べたり、鹿児島のお土産を使った買い物ゲームをしたりする活動を通して、互いの言語や文化についての理解を深めさせていきたい。**また、外国の人に、鹿児島のお土産を紹介する買い物ゲームの活動を通して、相手を思いやり、工夫して伝える方法を考え、よりよいコミュニケーション図っていかこうとする工夫についても考えさせていきたい。さらに、**色々な国の特徴のあるお土産の話**をALTから聞いたり、**自分たちの郷土のお土産について、特徴やよさを考えたりする活動を通して、世界には様々な文化があることの理解、自分たちのもっている文化に対するよさへの気付きや尊重しようとする態度を育成することもねらっている。**

この学習は、外国や日本のいろいろな特徴をゲームにして紹介し合う「ハローワールド」の学習へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

この期の子どもたちにとって、買い物の場面は、これまでもそのコミュニケーションの楽しさを味わってきているものである。実生活でも様々な買い物をしているが、中でも、お土産は買うことを通してその土地の文化に触れる楽しさがある。これから予定されている修学旅行等で家族へのお土産を買うことを楽しみにしている子どもも多いと考えられる。

そこで、外国の人に、鹿児島のお土産を紹介する場面を設定することは、これまでに**社会科で学習した、鹿児島県と世界との物や人の交流**といったつながりを想起しながら、**これまでも外国語活動で行ってきた「買い物ゲーム」の活動に、より臨場感と必要感を味わわせ、英語を通じて相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を喚起させることに適している。**また、**鹿児島のお土産を紹介するために、外国の特徴あるお土産と比べたり、社会科で学習した郷土の特産物や特徴を振り返ったりすることで、自分たちの郷土を見つめ直し、鹿児島文化について理解を深めさせることにも適している。**

このようなお土産店での買い物の場面において、**必要な英語を表現する楽しさを十分味わえるようにするために、生活やこれまでの学習との関連を図った活動を重視していきたい。**また、それぞれの考えを交流しあえるような発表や話し合い等の言語活動を充実させていきたい。

具体的には、まず、外国の様々なお土産をクイズで紹介し、外国の文化に触れる楽しさを感じさせ、鹿児島のお土産を紹介してみたいという意欲をもたせる。そして、班の友達と協力しながら、一つのお土産の紹介の仕方を工夫し、特徴を紹介する。さらに、班の友達と分担して、一人一つずつ他の鹿児島のお土産を紹介する方法を工夫して考え、お土産店が開けるようにする。最後に、互いに外国からのお客さん役とお土産店役を交代しながら、買い物ゲームを行う。

このような学習を通して、買い物の表現や、お土産を紹介する英語に慣れ親しみながら、ALTやJTE、友達と積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付け、同時に日本や外国の文化に対する理解を深め、次の学習へ新たな興味と意欲をもつことができると考える。

(3) 子どもの実態（対象者 は組児童36名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示）

① コミュニケーションへの積極性

○ 外国の人とふれあうのは好きか。

はい(30) いいえ(8)

【「はい」の理由】・外国や友達の色々なことがわかるから。

【「いいえ」の理由】・英語で話せないから。

② 学習内容に対するとらえ

○ 外国の方が興味をもっていると思われる文化

食べ物(寿司など)・食文化(13) 着物(3) アニメ(3) 温泉(2)

○ 鹿児島のお土産(食べ物)で紹介したい物

さつまあげ(17) →鹿児島の名前が入っているから。

かるかん(11) →鹿児島のおいもを使った和菓子だから。

桜島大根・桜島小みかん(5) →世界最大・最小の物だから。

黒豚(5) →黒い豚は珍しいと聞いたから。

③ お土産店での買い物の英語への慣れ親しみ(聞き取り法)

○ 買い物で使う英語 May I help you?(17)

How much?(13) Thank you.(5) ～, please.(4)

④ コミュニケーションを図る工夫

○ どんな方法で外国の方に紹介するか

知っている英語(15) ジェスチャー(11) 知っている英語と

日本語を併用(10) 絵に描く(5) 実物を見せる(2)

○ 外国の人と話すときに気をつけていること

・発音(8) ・ジェスチャー(5) ・伝わっているか確かめながら話す(3)

・間違えないようにすること(3)

⑤ 外国語活動に対する達成感

○ 「楽しい」「うれしい」等と思うとき

・うまく英語が言えて、相手に通じたとき。(12)

・友達など相手のことがわかったとき。(10)

本学級の子どもたちは、その多くが外国の人との交流を楽しく感じている。しかし、英語を正確に聞いたり話したりできなければならぬと感じ、苦手意識をもっている子どももいる。(①)鹿児島のお土産については、これまでの生活や学習の中で知識を得ている子どもが多い。(②)そのため、**外国の方に自分のもっている知識や経験をもとに説明しよう**と考えることができるよう、**社会科で学習したことや日常生活との関連等を振り返るような場面を設定していきたい**。また、これまでの外国語活動の内容との関連から、お土産は食べ物に限定する。そして、買い物場面での英語は、慣れ親しんでいる子どもは半数ほどであることから、リズムチャンツやゲーム活動を通して、自信をもって伝え合う活動に臨めるようにする必要がある。(③)

また、これまでの学習から、外国の方とよりよいコミュニケーションを図るための工夫を考えている子どももいる。しかし、相手意識をもったの工夫という点では、十分に意識できているとはいえない。(④)そのため、生活に身近な場面で臨場感のある外国の方とのコミュニ

ケーション場面を設定し、相手意識をもった活動が行えるようにする必要がある。さらに、外国語活動での達成感については、**英語を通じたコミュニケーションがよりよく図れ、相手への理解が深まったという自分の変化を実感した際に感じていることに留意する。**(⑤)

(4) 指導上の留意点

ア 外国や郷土のお土産への興味・関心を高めさせるために、ゲーム活動やスキットを取り入れながら、子どもが紹介したい物を選ぶ等して、伝えたいという意欲をもって活動し、伝えてよかったという喜びが高まる内容を設定していきたい。

イ 安心感をもって英語でのコミュニケーションに挑戦できるように、お土産の紹介の場面ではこれまでに慣れ親しんできた買い物の英語が使えるように場の設定を工夫したい。

ウ また、言語に対する気付きをもたせるために、**色々な国のお土産を紹介したり、前単元「いろいろな文字があることを知ろう」との関連を図ったりする**。また、**外国と自分達の郷土鹿児島との文化の違いやそれぞれのよさに気付きそれぞれのよさへの理解を深めさせるために、互いの文化を比較できるような板書や発問の工夫を行いたい**。

3 目 標

- (1) 「外国の人とコミュニケーションを図りたい。」という願いのもと、ALTやJTE、友達と協力しながらゲーム活動やスキットづくりに取り組む。
- (2) 外国と鹿児島の特産を生かしたお土産を比較し、言語や文化の相違点や共通点に気付き、その言葉の面白さや豊かさ、多様なものの見方や考え方について理解する。
- (3) リズムチャンツやゲーム活動等を通してお土産を紹介する英語や買い物の英語に慣れ親しむ。
- (4) 鹿児島のお土産を紹介する場面で、よりよいコミュニケーションを図る工夫をしようとする。

4 指導計画 (全6時間)

楽しさの深まり	曜日	過程	学習課題と主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
<p>○ 外国の特微あるお土産を知り、言語や文化の違いに気付く楽しさ</p> <p>○ 伝えたい表現を工夫する楽しさ</p> <p>○ 他の文化と比較しながら、自分の文化のよさがわかる楽しさ</p> <p>○ 工夫したことや気付いたことを広げ発展させる楽しさ</p> <p>○ 慣れ親しんだ英語や工夫した表現を使ってコミュニケーションを図る楽しさ</p> <p>○ これまでの自分と比べながら学習を振り返る楽しさ</p>	1	意欲をもつ	<p>I</p> <p>鹿児島のお土産をしようかいしよう</p> <p>Let's challenge souvenir Quiz.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国のお土産店のスキットを見る。 ・ スキットの内容と語彙や表現について話す。 ・ 買い物での英語の表現を知り、発話する。 ・ 外国のお土産当てゲームをする。 	<p>○ 買い物の場面を具体的に想像させるために、拡大絵を提示したり、スキットで色々な国のお土産を使ったりする。</p> <p>○ 外国と鹿児島とのつながりが深まっていることを確認させ臨場感や必要感を喚起させるために、社会科で学習した資料や外国語活動の前単元の学習内容を想起させる。</p> <p>○ 外国の特徴あるお土産を見ながら、自分たちはどのようなお土産を外国の人に紹介できそうかを想起させる。</p> <p>○ 言語や文化に対する理解を深めさせるために、お金や食べ物等文化の違いに気付いている子どもの発言を取り上げて紹介する。</p> <p>○ 友達と協調して英語で伝え合う喜びを味わわせるために、お土産の紹介を含めた買い物ゲームの活動を取り入れる。</p> <p>○ コミュニケーションの大切さに気付かせるために、スキットで相手意識をもった表現を工夫したり、友達と協調したりできたことを発表させる。</p> <p>○ 学習の成就感を味わわせるために、新たに学んだことや感想等を発表させる。</p>
	2 (本時)	つ	<p>Let's introduce the souvenir of Kagoshima.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介したい鹿児島のお土産の食べ物のお土産を考える。 ・ 鹿児島のお土産を工夫して紹介する。 	
	3	か	<p>Let's think about more good communication.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班で考えたお土産の紹介をスキットで表す。 ・ お土産を紹介するために工夫していたことについて、気付いたことや考えたことを発表する。 	
	4	む	<p>II</p> <p>お土産の買い物ゲームをしよう</p> <p>Let's make the souvenir more.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お土産店のスキットを見る。 ・ 鹿児島のお土産の色々なお土産を工夫して紹介する買い物ゲームの準備をする。 	
	5	挑	<p>Let's practice the souvenir shop game.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島のお土産店の店員と外国の方の役を交代しながら、買い物ゲームの練習をする。 	
	6	戦	<p>Let's play the souvenir shop game.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちで作ったお店で買い物ゲームを行う。 ・ コミュニケーションの様子についてよかったところを話し合う。 <p>鹿児島のお土産を紹介し、買い物ゲームをして楽しかった。鹿児島のよさを外国の人にもっと伝えたい。</p>	

5 本 時 (2 / 6)


(1) 目 標

- ア 外国や鹿児島のお土産を使った買い物ゲームや、鹿児島のお土産の特徴を工夫して紹介する活動を通して、積極的にALTやJTE、友達とコミュニケーションを図る。
- イ 外国や自分たちの郷土が、それぞれに特徴のあるお土産をもっていることに気付き、言語や文化に対する理解を深める。
- ウ お土産の紹介や買い物の場面において、伝え方や相手のことを考えたりしながらよりよいコミュニケーションを図る工夫をする。

(2) 本時の展開に当たって

- 本時のコミュニケーション場面を豊かに想像させるために、社会科で学習した内容と関連を図り、振り返る時間を設定する。また、外国と鹿児島の言語や文化の違いやそれぞれのよさへの理解を深めさせるために、互いの文化を比較できるような板書や発問を行う。

(3) 実 際

過程	主な学習活動	予想される語彙や表現	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	1 Greeting	【Skit】 A: May I help you? J: What's this? A: It's a ○○. J: What's in it?	5	○ お土産店での買い物をする場面を想像させるために、土産物店の様子を拡大絵で提示したり、外国や鹿児島のお土産を提示したりする。
	2 買い物の場面のスキットを見てめあてを確かめる。 鹿児島のお土産を班の友達と工夫してしようかいしよう。			
つかむ	3 ALTと一緒にスキットを見る。	【紹介するお土産】 ・かるかん ・桜島小みかん ・桜島大根 ・さつまあげ ・白熊 ・さつまいも ・ボンタンアメ ・黒豚	12	○ 鹿児島の紹介したいお土産の特徴を踏まえさせるために、実生活や社会科で学習した内容を想起させる。 (3年「ボンタンアメ工場の仕事」等)
	4 外国のお土産の紹介で使った英語を練習する。			
	5 Rhythm Chants			
挑戦する・広げる	6 鹿児島のお土産の中から、各班で紹介する物を決める。	C: かるかんは、米の粉でできているよ。 J: どんな英語に例えられそうかな。 C: ケーキみたいなものかな。あんこも入っている。	20	○ 外国の方に紹介したいという意欲を高めるために、社会科で学習した鹿児島の特産物や子どもの実態調査で多く挙げた身近なお土産の紹介を考えさせる。
	7 班の友達と工夫して外国の人に鹿児島のお土産を紹介する方法を考える。			
	8 ALTに伝える。 			
振り返る	9 Reflection time ・ 鹿児島のお土産の特徴が英語で表せた。 ・ いろいろな国の人に鹿児島のお土産を紹介したいな。	【子どもの発表例】 C: Hello. May I help you? A: Yes. What's this? C: This is Karukan. It's rice cake. A: What's in it? C: "Anko", "Beans" and "suger". A: O.K. Karukan please.	8	○ コミュニケーションの大切さに気付き、相手意識をもって活動させるために、友達同士で買い物での会話を見合い、よいところを見つけさせる。 ○ 学習への達成感や満足感を味わわせるために、気付いたことや楽しかったことを発表させ賞賛する。
	10 Ending			